

H. P. Report

2004年の年頭にあたって

年頭にあたって、またまた今年1年を考えてみます。

2003年はどのような年だったのでしょうか。2001年の7月から特集したところのある「ユビキタス」という言葉が一気に身近になった年だったような気がします。なんだかコンピュータとかネットワークが気づかないうちに身近になってきてしまったという感じなのかもしれません。では実際にどのようになってきたかというところ、各商品につけるICタグの単価が10円程度になってきて、これからの普及に目処が立っただけで、あとはワイヤレスLANの使えるホットスポットが増えたりしているだけです。でも流行り言葉は「ユビキタス」ということになっているようです。他には、自治体がネットワークで接続した住民情報ネットワークシステムが本格稼働したりなど、着々とネットワーク化が進んでいるようです。

一方、家庭ではどうでしょうか。ビデオがテープからDVDに変わり、録画もDVDとなるかと思えば、大容量HDDを内蔵したビデオレコーダが普及しはじめ、一部はホームサーバとしてLANのサーバとして売られるようになってきています。実際ホームサーバとしてどの程度利用されているかは疑問ですが、家電メーカは白物電化製品のコントロールの規格化に乗り出し、ゆくゆくは家庭の電化製品がネットワークで接続されるような気がします。ホームネットワークについてもここ数年前からいろいろな話が出てはいたのですが、なんだか一気に進みそうで、一部でも面白そう、便えそうというところがあって、購入できる価格帯にさえなれば一気に広まるものだなあという気がしました。

ところで2004年ですが、家庭においてはホームネットワークが一気に加速することになるのではないのでしょうか。ネットワークについては、今からLAN配線するわけにもいかないでしょうから、電灯線を利用するか、無線LANとことになってしょうが、無線LANの単価もPCカードで1枚数千円になってきていますから、機器に組み込むとなればそれほど単価が高くなることは無いのではないのでしょうか。ハードウェア的には普及についての問題はすぐにもなくなってくるものと思います。去年も書きましたが、やはりパソコンがパソコンでなくなる日も近いのではないのでしょうか。ホームサーバが普及し、家庭内の電化製品をコントロールするといっても専用であったり、デジタル対応のテレビがその機能を持ったりすると必要ありませんし、インターネットにしても、携帯電話が中心になったり、これもデジタル対応テレビがその機能を持ったりすれば必要ではなくなります。汎用的なパソコンは、今後必要とされなくなるのではないのでしょうか。いろいろなものに組み込まれ、映画ではないですが、テーブルでキータッチをすれば必要な情報がテレビに映し出されるとなってしまうえば。

それよりも今後一層重要になるのはセキュリティです。便利になるということはその半面別の問題が含まれていることを自覚しなければなりません。これまでのように、安易な気持ちで情報を扱っていると、信用問題や企業の存続にも影響することもあります。きちんとしてセキュリティ教育のされないままの状態で、ただネットワークが導入され便利だけが強調されていけば、大変な問題の発生が待ち構えているようで怖いところがあります。セキュリティは誰かがやればよいというものではないのです。情報を取り扱う限りは、十分自覚を持っていなければなりません。なんだか、年が明けるたびにだんだん怖くなるのは私だけでしょうか。

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 12月22日号

特集 なぜPSXを7万9800円にできるのか

→鳴り物入りで登場した低価格DVDレコーダ「PSX」。PS2を利用することによって、操作性と低価格を実現したその構造はどうなっているか。又低価格と性能をどこで両立させているか。

○日経エレクトロニクス 1月5日号

特集 異域の才を得て未踏の地を狩る

→これまで本業ではなかった分野の技術者を採用することによって、これからの時代に対応しようとしている。例えば、電気メーカの光学技術者、カメラメーカのデジタルテレビ技術者、車メーカのエレクトロニクス技術者など。これからの時代に対応していくには、技術は複雑怪奇になっていく。また、独自ですべての技術者を育てていくことから、同業者間での協力、合併も今後増えていく。

解説 日本勢に追いつき、追い越せ テレビ市場を攻めるDe11の勝算

→パソコンメーカであるDe11が一般家庭向けテレビ市場に参入した。一般テレビといっても、液晶と画像処理、受信機で構成される。これまでのパソコン関連技術で専門メーカを味方につければ製品は作れる。すでに海外でのパソコン販売から撤退した「Gateway」もアメリカのPDPのシェア30%をとっている前例もあることから、今後の新規参入メーカのシェア獲得の可能性は高い。

○日経パソコン 1月5日号

特集 いまさら聞けないWindowsのナゼ?

→誰でも使えるようになったWindows。しかし、今1つ踏み込むとわからないことばかり。使っているとよく出てくる「ナゼ?」という疑問に答える。

特集 日経パソコン厳選10大ニュース

→2003年の10大ニュース。1980円ソフトや、ブラスターの猛威、中古パソコンの定着など。過ぎ去った2003年を思い返してみる。

○日経バイト 1月号

特集 ノートパソコンが変わる日

→ノートパソコンは変わってきている。現在デスクトップの代わりとなる高性能型とモバイルに徹したものの2つに分かれているが、その先には大胆なコンセプトの変更が求められている。

LAB 記録型DVDの速度と品質

→4.7GBの記録型DVDが普及段階に入っているが、容量いっぱい記録しようとする1時間かかってしまう。2倍速、4倍速、8倍速と製品は出てきているが、その書き込み速度と品質はどうか、検証。

UTH NGSCB

→次世代Windowsにマイクロソフトが組み込もうとしているセキュア構想NGSCB(Next-Generation Secure Computing Base)。一般モード用と保護モード用の2つのカーネルを共存させるこの構想の内容につ

いてはまだ十分に公開されていない。マイクロソフトのソフトウェアアーキテクトが寄稿したものを中心に、その内容を解釈する。

○日経システム構築 1月号

特集 オープンソースの壁を越える

→Linuxを中心としたオープンソース・ソフトウェアの利用が増えているが、可溶性や機能、サポート、非互換性などオープンソースとしての壁が存在するが、その壁に対してユーザやインテグレータはどう対処してきたか。

特集 EIPを成功に導く

→社内外の情報を画面上に集約し情報活用を促す企業情報ポータルEIP (Enterprise Information Portal)はどのように使えるような物にしていくかが問題。役に立たないと思われればいつのまにか使われなくなってしまふ。成功の秘訣は、構築目的を明らかにし、利用者を巻き込み、目的に応じたツールを選ぶことにある。

○N+I NETWORK 2月号

特集 ネットワーク2004

→急速な成長と変化を遂げているネットワーク。2003年も新しいサービス、製品が登場したが、現在の市場動向はどうか、これからのネットワークを考える。

○ASCII 1月号

特集 2004年大予測

→2004年のパソコン回りの技術動向はどうかを特集。パソコン購入時に後になって後悔しないために。